

ネットワーク設立へ

世界ウチナンチュ・ビジネス・ネットワーク ハワイ

【ホノルル2日池間聡】ハワイ沖繩センターで二日午前(日本時間三日未明) 始まった「第一回世界ウチナンチュ・ビジネス・ネットワーク・ワークショップ」(主催・りゅうぎん国際化振興財団、ハワイ東西センター、ハワイ・ウチナンチュ・ビジネス・グループ、HUB、琉球新報社) は午後から六つのグループに分かれ、ネットワークづくりに向けての具体策を討議した。世界ウチナンチュ・ビジネス(WUB) ネットワークを設立することで意見が一致。WUBの設置地域や組織構成、資金集めの方法などについては、三日行われる総まとめのワークショップで決める。

設置地域や資金で討議へ

同ワークショップにはハワイをはじめ米本土、南米、沖繩、フィリピンなど九カ国・地域からウチナンチュの実業家ら六十五人が参加。二日間の日程で開かれている。

グループ討議では①コミュニケーションをどうするか②WUBの構成や設置地域③資金集めの方法④次回の会議について⑤の五つの議題を討議した。

コミュニケーションについては電子メールの活用が

不可欠という意見が多数を占めたが、普及していない地域もあるとの声も。WUB設置地域については、ワークショップを企画・運営したHUBのあるホノルルを支持する人が目立った。

また資金集めの方法については「会費を徴収」「募金活動としてイベントをしたかどうか」という提案のほか、「海外のウチナンチュ銀行をつくり、基金を置いて若い世代や新しいビジネスに投資したかどうか」との意見もあった。

ワークショップ最終日の三日は、四つのグループに分かれてスパーマーケットやレストラン、ホノルル



世界各地のウチナンチュが集まって始まった「第一回世界ウチナンチュ・ビジネス・ネットワーク・ワークショップ」。円内は仲宗根会長「ハワイ沖繩センター」

市役所などを視察した後、東西センターで再び討議。総まとめをし、今後の行動計画を決める予定。